



手と手

やさしさ
100パーセント



曾於市立諏訪小学校
6年 池田 大翔さん



曾於市立諏訪小学校
6年 大窪 梓詠さん



曾於市立諏訪小学校
2年 木道 優花さん



曾於市立柳迫小学校
6年 満倉 桃羽さん



曾於市立岩川小学校
5年 松崎 真優さん



曾於市立恒吉小学校
5年 重村 光駕さん

第17回 曾於市社会福祉大会 福祉ポスター 優秀賞

人と人とのつながりを大切に地域と共に歩む

発行／社会福祉法人 曾於市社会福祉協議会

曾於市財部町南俣504番地1(財部保健福祉センター内) E-mail:sohokubu-shakyo@dream.ocn.ne.jp

TEL:0986-72-0460・0480 FAX:0986-72-0425

【末吉支所】 TEL:0986-76-2224

「手と手」情報紙は、本会ホームページでもご覧になれます。

【大隅支所】 TEL:099-482-3013

URL:<http://soo-shakyo.or.jp/>

この情報紙は、地域住民の皆様からの社会福祉協議会会費を財源に発行しています。

令和 3 年度 福祉ポスター 優秀賞受賞者紹介

今号の表紙は、今年度の福祉ポスター審査委員会で優秀賞を受賞された児童の作品を紹介させていただきました。受賞された児童のみなさんを紹介いたします。



曾於市立諏訪小学校 6年 池田 大翔 さん

【作品に込めたメッセージ】

あんまり笑顔の町づくりができていないと思ったからこの絵を書きました。



曾於市立諏訪小学校 6年 大窪 梓詠 さん

【作品に込めたメッセージ】

高齢者や障がい者などへの思いやりは自分たちにも関する身近なもののなので「思いやりのハート」を手でそなえて書きました。



曾於市立諏訪小学校 2年 木道 優花 さん

【作品に込めたメッセージ】

やさしいクラスになったらいいなと思ってかきました。私もやさしくします。



曾於市立柳迫小学校 6年 満倉 桃羽 さん

【作品に込めたメッセージ】

みんなで支え合おう。



曾於市立岩川小学校 5年 松崎 真優 さん

【作品に込めたメッセージ】

みんな笑顔で愛いっぱい町作りをがんばっていきましょう。



曾於市立恒吉小学校 5年 重村 光駕 さん

【作品に込めたメッセージ】

みんなが思いやりの心を持ってほしいです。

令和 3 年度福祉作文・福祉ポスター最優秀賞受賞者へ賞状を授与

10月6日（水）に財部小学校、柳迫小学校で福祉作文及び福祉ポスターの最優秀賞受賞者への表彰を行いました。

例年は、市社会福祉大会で行っていますが、本年度の開催を中止としたことに伴い、学校で賞状の授与をさせていただきました。本年度もたくさんの作文、ポスターの応募をいただきありがとうございました。

今後も地域の福祉への関心を高め、参加の促進に取り組んでいきます。



福祉作文 財部小学校 小松 華奈 さん



福祉ポスター 柳迫小学校 園田 結凜 さん



令和3年度曾於市社会福祉協議会・曾於市長寿クラブ連合会表彰式

10月17日（日）に、永年にわたり地域福祉活動に功績のあった方々に対する曾於市社会福祉協議会会長表彰と長寿クラブ活動に功績のあった方々に対する曾於市長寿クラブ連合会会長表彰を行う表彰式を開催しました。式は、3会場（財部保健福祉センター、そお生きいき健康センター、大隅弥五郎伝説の里）に分けて行い、受賞者を代表して、福元博子様が謝辞を述べられました。表彰を受けられた皆様おめでとうございます。

被表彰者の方々をご紹介します。（敬称略）

社会福祉法人曾於市社会福祉協議会 会長表彰

○表彰の部					
社会福祉施設の長及び職員並びに相談員等 8名		社会福祉施設の長及び職員並びに相談員等として、長年在職され、功績があった方			
池田 正昭	榎屋 公平	有川 恭平	大重 亜弥	天神 孝弘	井脇 翔一
園田 理恵	持田 泰香				
社会福祉団体等の役職員（5名）		社会福祉団体等の役職員として、長年在職され、功績があった方			
永野 次雄	黒木 美智子	西 松 夫	豊田 睦子	木原 友香	
在宅福祉アドバイザー（8名）		在宅福祉アドバイザーとして、地域の中で援護を必要とする方々への声かけや見守りを行い、その活動が他の模範となる方			
森 榮子	福元 博子	松村 睦子	大川内 和子	笠原 くめ子	中内 敏子
松元 富士男	新宮 千文				
○感謝の部					
献身的介護者 2名		長年にわたり家族を献身的に介護をされている方			
川平 哲夫	松田 恵一郎				

福祉団体長表彰：曾於市長寿クラブ連合会 会長表彰

役職功労（13名）		長年にわたり、役員として貢献された方			
愛甲 勝弘	藤田 敏	濱田 勲	矢野 アイ子	金澤 貞則	太良木 義文
林 勝義	武田 孝一	野村 キリ子	野村 テル子	松田 司	假屋 順
藤崎 ミチ子					



権利擁護センターに成年後見制度中核機関を設置しました

成年後見制度利用促進法を受け、令和3年10月に曾於市より曾於市社会福祉協議会が受託し、本会権利擁護センター内に中核機関を設置しました。

中核機関とは、権利擁護支援が必要な人を把握し、相談に応じて成年後見制度を必要とする方が安心して利用できるよう、地域における福祉・医療・地域の関係者や法律の専門家・行政などが連携・対応する体制を整えていきます。ご本人や家族、後見人、支援関係者をサポートし、認知症や障がいがあっても自分らしく安心して暮らせるように、地域連携ネットワークづくりに取り組んでいきます。

中核機関の具体的な取組み

広報・啓発

制度の周知・広報を行います。支援が必要であっても自ら相談には行けない、SOSをあげられない方が、適切な制度利用に結びつくよう情報提供、理解促進に取り組めます。



相談

本人、親族、関係機関からの制度利用等の相談に応じます。様々な関係機関と連携し、相談者のニーズに合った支援につなげます。



成年後見制度利用促進

成年後見制度利用のための支援

制度の説明、申立ての支援をします。

適切な後見人を選任する取組み

本人のニーズに合った後見人等が選任される制度利用を目指します。

担い手の育成（令和5年度から）

市民の立場で後見活動に取り組む権利擁護の担い手を養成します。



市民・親族後見人活動の支援

後見人が孤立することのないよう日常的な相談や本人の意思決定支援を適切に行えるようサポートします。

関係機関や地域と連携して支えます。迷った場合に助言が受けられ、安心して後見活動ができるようサポートします。



生活福祉資金貸付制度のご案内

生活福祉資金貸付制度は、所得の少ない世帯や高齢者世帯、障がいがある人が生活する世帯に、世帯の状況や必要に合わせた資金の貸付と併せて相談支援を行うことで、その世帯の生活を経済的に支えるとともに、在宅福祉及び社会参加の促進を図り、安定した生活を送れるようにすることを目的とした制度です。

●貸付の対象となる世帯

低所得世帯	市町村民税が非課税・均等割課税世帯であり、世帯の収入が生活福祉資金貸付収入基準額を下回っている世帯。所得割課税世帯であるが、生活の実態が非課税・均等割課税世帯と同等と認められる世帯
障がい者世帯	身体障害者手帳、療育手帳、精神障害者保健福祉手帳の交付を受けられている方、その他、現に障害者総合支援法によるサービスを利用している等これと同程度と認められる方が属する世帯
高齢者世帯	日常生活上介護を要する 65 歳以上の高齢者の属する世帯であり、市町村民税が非課税・均等割課税で生活福祉資金貸付収入基準額よりも収入が下回っている世帯

※資金の種類によって、対象となる世帯が異なります。

※母子・父子世帯と寡婦世帯は同様の貸付制度があります。そちらの利用が優先されます。

●資金の種類

資金名	種 別	使 途
総合支援資金	生活支援費	失業等により生活困窮となった世帯の就職活動・生活に必要な費用
	住宅入居費	上記世帯の住宅の賃貸契約に必要な費用（敷金・仲介手数料）
	一時生活再建費	上記世帯の生活再建に必要な一時的な費用
福祉資金	福祉費	日常生活を送る上で一時的に必要な経費（技能習得経費、住宅増改築経費、福祉用具購入経費など）
	緊急小口資金	緊急かつ一時的に生計の維持に必要な費用
教育支援資金	教育支援費	高校、専修学校、大学等に就学するために必要な費用（授業料、寮費・家賃、通学費用など）
	就学支度費	高校、専修学校、大学等の入学に際して必要な費用（入学金、制服代、教科書代など）
不動産担保型生活資金	低所得世帯向け	高齢者世帯の生活費（現在居住しており、一定額以上の資産評価のある不動産を担保に貸付契約を締結）
	要保護世帯向け	※要保護世帯向けは、保護の実施機関が資産の保有要件を除き保護が必要と認める世帯が対象

ご相談や申込み、資金の詳細につきましては市社会福祉協議会へお問い合わせください。

その他の資金の貸付

鹿児島県社会福祉協議会では、上記の資金以外の貸付も行っています。詳しくは、鹿児島県社会福祉協議会 HP (www.kaken-shakyo.jp) の「資金貸付」欄からご確認ください。

○介護福祉士修学資金等貸付制度

○保育士修学資金貸付等事業

○福祉系高校修学資金等貸付事業



校区・地区公民館長及び校区社会福祉協議会 会長合同連絡会を開催

10月13日（水）財部保健福祉センターにて、校区・地区公民館長及び校区社会福祉協議会会長合同連絡会を開催しました。今回は感染症予防として、午前と午後の2回に分けて行い、合計57名の関係者に参加いただきました。

鹿児島県社会福祉協議会 地域福祉部副部長の瀬戸口 誠 氏に『住民主体の地域づくりの視点について』と題した講話の中で、校区社協の役割や活動の必要性、福祉のまちづくりの総合的な方向性を示していただき、具体的な例もとりあげながら、地域の福祉力を高めていく活動についてご教示いただきました。

また、地域福祉を推進していくための「地域福祉計画※①」と「地域福祉活動計画※②」の意義についても共通理解を図り、今年度の計画の見直しを機にこれから校区社協と地域福祉コーディネーターが共に地域の福祉の取り組みについて考えていくことについて説明を行いました。

今後も校区社協と協働で地域を基盤とした福祉の推進に努めていきます。



※①地域福祉の実現に向けて市が進める方向性や、基本的な考えを示したもの

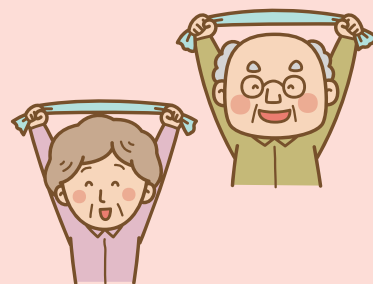
※②「地域福祉計画」を踏まえつつ、社会福祉協議会が地域住民や、関係機関と連携し地域福祉を推進するための具体的な行動計画

体操教室に参加してみませんか！

体操教室は、セラバンド（ゴム製のひも）体操を取り入れた、地域高齢者の身近な介護予防と通いの場です。

体操をすることが主な目的ですが、お茶のみや参加者同士で会話をすることで、楽しい生きがいがづくりの場にもなっています。

現在曽於市内に、39か所の体操教室があります。参加したい方、うちの自治会でもやってみようかなという方、連絡をお待ちしています。



家では体操
しないけど、
皆と一緒に
続けられる。

足が上がる
ようになり、
歩きやすく
なった。

話はずんで、
住民同士の
交流の場
になっています。



SOOGoodFM

まちづくり曾於エフエム

に出演
しました♪

10月

7日「赤い羽根共同募金運動」を
テーマにラジオ出演しました。

共同募金は、集められた地域の福祉のために使
われる募金です。今回は共同募金の助成を受け
て活動されている団体、「にこにこデイ」の福森
さんに活動の内容などについてお話していただ
きました。

福森 敏子さん（にこにこデイ）

—にこにこデイ（ミニデイ）ではどのようなこと をされているのですか？

週に1回集って、交流をしながら体操などを通
じて心身機能の維持・向上を図っています。

コロナ禍でなかなかこれまでのようにできない
こともありますが、介護予防に努めて、認知症予
防の体操や脳トレを行っています。

具体的には、指先や様々な道具を使ってのゲー
ム、制作活動、音楽体操、食事会など様々な活
動を行っています。

※写真右下に写っているのが、にこにこデイで制
作した作品です。

—活動をされてきてどのようなことを感じていま すか？

活動が5年以上継続できているのは、参加者一
人ひとりが得意なこと、好きなことを活かし、そ
れぞれが役割をもって、参加していただいている
からだと思っています。



—今後の活動への思いは？

皆さん毎週にこにこデイにくることを楽しみに
していただけていますが、コロナ禍で活動が休止
になったりと、難しい部分もあります。コロナ禍
なので何もしないではなく、コロナ禍だからこそ、
できることをスタッフや参加者の皆さんと一緒に
考えながら取り組んでいきたいと思っています。

SOOGoodFM で社協の情報を発信させていた
だいています。

▶ 番組名：しるしるそお市

▶ 社協出演枠：偶数月第1木曜日

11時00分～12時00分

10月から赤い羽根共同募金運動がはじまっています！

■共同募金ってなに？

共同募金は、赤い羽根をシンボルに、「赤い羽根共同募金」として、
毎年10月1日から翌年3月31日の期間、全国で募金運動が行われて
います。

■共同募金は何に使われているの？

共同募金は、制度や行政の手が届かない「地域の困ったこと」のため
に使われます。

曾於市で募金をする、曾於市の「困ったこと」に使われます。

誰もが住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、さまざま
な地域福祉の課題解決に取り組む民間団体に助成しています。

皆様のご協力をどうぞよろしくお願いします。



コロナ禍での子ども食堂の活動についてお聞きしました！ 地域との繋がりを大切に頑張っています！



曾於ふれあい食堂

平成 29 年より市内に子ども食堂がない頃手探りで始め、無事 5 年目を迎えました。民間のご厚意、善意で今日まで来ることができました。コロナ禍だからこそその気持ちで昨年 7 月に川内団地、9 月に末吉を開催、各責任者を置き 3 か所で開催しています。



- ① 開催日 毎月第 1 日曜日
場 所 川内団地集会所
連絡先 080-2695-7808 (大森)
- ② 開催日 毎月第 3 土曜日
場 所 シオン舍うどんのフクロウ
連絡先 090-1085-0677 (新西ちさと)
- ③ 開催日 毎月第 3 日曜日
場 所 そお生きいき健康センター
連絡先 080-7984-2040 (木道)
代表連絡先 080-2635-6025 (新西美智子)

こども食堂



まるこ子ども食堂

今年 10 月で 4 年目を迎えることができました。コロナ禍により、各関係機関と連携を図りながら、お弁当や食材の配布をしています。

多くの企業、地域の方々からのご寄付で運営は成り立っています。今後も地域や子ども達の笑顔の為にスタッフ一同、頑張っていきます。



- 開催日 毎月第 3 土曜日
場 所 財部町北俣 水の手
連絡先 090-9578-1673 (徳丸)

ふれあい食堂 みんなテラス

子どもたちの食事支援、子どもから高齢者まで多くの方々がふれあうコミュニティの場として、令和元年 4 月にスタート。新型コロナウイルス感染防止のため、ドライブスルー形式でお弁当や食材の配布を行っています。食材の提供、ボランティアも随時募集中！



- 開催日 毎月最終日曜日
場 所 大隅中央幼稚園 (大隅町段中町 59)
連絡先 099-482-0384 (坂中)

なないろ子ども食堂

今年 8 月 22 日にオープンしました！子どもから高齢者まで、そしてボランティアの皆さんも楽しく交流できる地域の居場所づくりを目指しています。

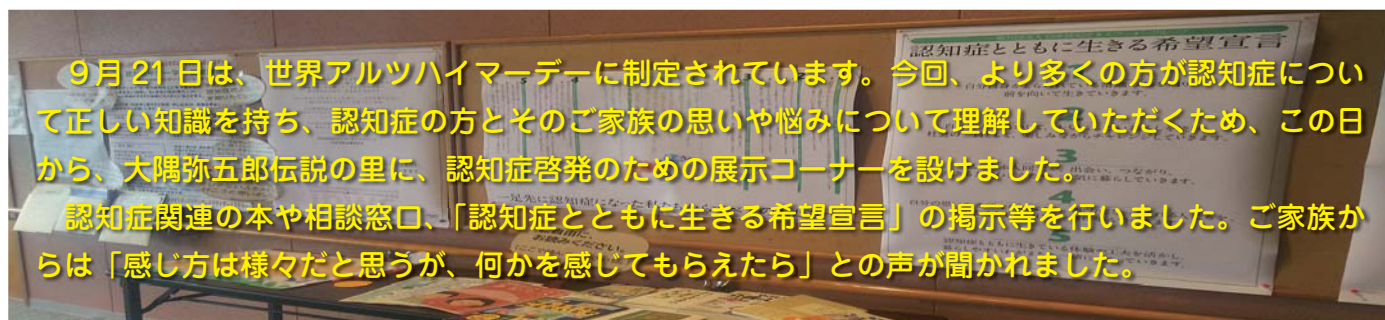
また、子ども食堂のほかに、離乳食教室や子育て支援事業も実施します。



- 開催日 毎月第 3 日曜日
場 所 末吉町新町 (徳重自動車さん前)
連絡先 080-6246-7716 (小園)

★詳細は各団体へお問合せください。

認知症啓発のための展示を大隅弥五郎伝説の里で行いました



9月21日は、世界アルツハイマーデーに制定されています。今回、より多くの方が認知症について正しい知識を持ち、認知症の方とご家族の思いや悩みについて理解していただくため、この日から、大隅弥五郎伝説の里に、認知症啓発のための展示コーナーを設けました。

認知症関連の本や相談窓口、「認知症とともに生きる希望宣言」の掲示等を行いました。ご家族からは「感じ方は様々だと思うが、何かを感じてもらえたら」との声が聞かれました。

〈ご本人、ご家族の言葉をまとめた小冊子より〉

なんでこんなこと（認知症）になったのかわからない。

苦労は買ってでもしろというし、前向きに考えていきたい。

家族の不安感は言葉で伝えなくても、本人は敏感に感じ取る。

友達に「忘れるのよ。」と言ったら、「何もかもしてきたからいいじゃない。」と言われた。そうかあと思ってね。どこかで変わったの。

物事をしないんじゃないかって忘れていく。教えてもらいながらだったら、まだできると思う。

頭が回らんとなくなるときがある。でも先生から「ちゃんと自分で考えちゃらんね。」と言われたからね。この病気はよくなるんだろうか。

心がさみしくなっていく。

あんたも元気にしちゃってね。

〈来場者の感想〉

- ・ 認知症について、まだまだ理解できていないことがあります。ですが、認知症の方の気持ち、家族の方の気持ちを知ることができました。「ともに生きる」「うまくつきあう」ために自分に何ができるのか、考える事が出来ました。
- ・ 私の母も認知症です。仕事では優しく接することができるのに、母となると「なんで…」「どうして…」「さっきも言ったがね…」と怒ってしまいます。もっと余裕を持って接したいです。
- ・ 学校で認知症のことを学びました。たくさんのことを学んでいろいろな人たちの役に立ちたいです。
- ・ 認知症の方の「希望」に寄り添えるように、理解を深めて行動できたらと思います。

認知症とともに生きる希望宣言

- 1 自分自身がとらわれている常識の殻を破り、前を向いて生きていきます。
- 2 自分の力を活かして、大切にしたい暮らしを続け、社会の一員として、楽しみながらチャレンジしていきます。
- 3 私たち本人同士が、出会い、つながり、生きる力をわき立たせ、元気に暮らしていきます。
- 4 自分の思いや希望を伝えながら、味方になってくれる人たちを、身近なまちで見つけ、一緒に歩んでいきます。
- 5 認知症とともに生きている体験や工夫を活かし、暮らしやすいわがまちを一緒につくっていきます。

((一社)日本認知症本人ワーキンググループが作成 (厚生労働省のホームページより))

私たちは、ご本人、ご家族の思いを自分のこととして受け止め、希望宣言にあるように自分らしく暮らし続けるために一緒に考え、これからも認知症への理解を深めていただくよう、地域への発信を続けていきます。

曾於市地域包括支援センターより「終活」始めました！

曾於市地域包括支援センターでは、令和3年度出前講座として新しく終活講座を始めました。現在も多くの関係団体よりお申し込みいただいております。関心度の高さを感じます。エンディングノートや遺言について実際に事例などを踏まえながら説明を行いました。初めて耳にする内容に驚いた表情を浮かべる方もおられる様です。

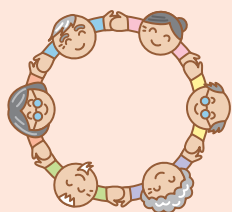
さて、終活とは、「人生の終りのための活動」の略です。人間が自らの死を意識して、人生の最期を迎えるための様々な準備や、そこに向けた人生の総括を意味する言葉です。決して良いイメージばかりではないかも知れません。ネガティブなイメージをしがち…避けてしまいがち…皆さんそうだと思います。

「終活」は残された時間を健やかな気持ちで過ごす為に、そして残された家族のためにも重要な作業となります。始めるタイミングは人それぞれです。自分の為、大切な人の為「終活」に取り組んでみませんか？

問い合わせ先：曾於市地域包括支援センター
電話：0986-76-8824 FAX：0986-28-8140
担当：坂元・永山



講座の様子



サロンで地域いきいき

～日光さわやか会～

代表 内田 真弓

平成26年から活動助成を受けて、日光集落の公民館で月に1回、開催しています。

ラジオ体操、セラバンドで体を動かし、ゲームや塗り絵で頭も働かせて、みんなで健康づくりに取り組んでいます。料理を作ってみみんなで食べることも、大きな楽しみになっています。また、近くの日光神社の散歩や、時には谷川内のダムまで遠足に出かけたりしたこともありました。サロンの時以外の、神社掃除をする時にもメンバーが集まると、たちまち交流の場になります。

最高齢の93歳の方を筆頭に、70代後半の参加者が多く、みんなで集まってのおしゃべりが一番の楽しみとなっています。最近はコロナで以前のようにできない活動もありますが、これからもつどいの場として、みんなで盛り立てていきたいです。



新規採用 職員紹介

令和3年11月1日付け
で2名の職員採用があり
ました。



曾於市地域包括支援センター
(社会福祉士)

寶田 毅



地域福祉課事業係 訪問給食サービス
(栄養士 兼 調理員)

富脇 裕子

心配ごと相談所開設について

日常生活のことで、お困りのことはありませんか？心配ごと相談員や社会福祉協議会職員が対応します。

会 場	開催日時	11月25日 9:30～12:00	12月9日 9:30～12:00	12月23日 9:30～12:00
財部保健福祉センター	相談員	柳 田	鎌 原	橋 本
そお生きいき健康センター		竹 石	吉 田	羽 嶋
大隅弥五郎伝説の里		佐 伯	鍋 山	津 曲
会 場	開催日時	1月13日 9:30～12:00	1月27日 9:30～12:00	2月10日 9:30～12:00
財部保健福祉センター	相談員	棚木原	柳 田	鎌 原
そお生きいき健康センター		原 田	竹 石	吉 田
大隅弥五郎伝説の里		中 原	佐 伯	鍋 山

無料法律相談等開設について

ひまわりの会による無料法律相談

○相談料：無料

※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：事前に予約が必要です。

○お問い合わせ先：

ひまわりの会事務局 代表弁護士 山口 政幸
鹿児島市山下町12番17号2階
TEL:099-227-0041 (受付:平日9時～17時)

○相談日時及び会場：

会 場	相 談 日 時
財部保健福祉 セ ン タ ー	1月20日 13:00～16:00
そお生きいき 健康センター	11月18日、2月17日 13:00～16:00
大隅弥五郎 伝 説 の 里	12月16日、3月17日 13:00～16:00

藤尾法律事務所による無料法律相談

○相談料：無料

※1回につき相談時間は30分以内

○申込・受付方法：先着順、事前電話予約可

○お問い合わせ先：

弁護士法人 大隅広域ディフェンダー
藤尾法律事務所末吉支所
曾於市末吉町本町1-4-5 TEL:0986-51-9830

○相談日時及び会場

会 場	相 談 日 時
財部保健福祉 セ ン タ ー	12月14日、1月11日、2月8日 13:00～15:00
大隅弥五郎 伝 説 の 里	11月16日、12月21日、1月18日、2月15日 18:00～20:00

たくさんの善意に感謝いたします

曾於市社会福祉協議会では、この善意を市民の皆様の福祉向上のために大切にに使わせていただきます。なお、本紙への掲載につきましては、ご本人の承諾を得てご希望どおりに掲載しております。

香典返し寄付金（敬称略）（令和3年8月1日～令和3年10月31日）

本所（財部）受付分

松	下	良	徳	元	阿	邪	里
岩	切	健	志	日	光	代	峯
薙	平	信	弘	上	大	越	馬
堀	内	良	雄	鳥	東	蓑	原
川	崎	賢	博	東	蓑	原	谷
有	村	和	夫	東	蓑	原	谷
福	永	行	夫	東	蓑	原	谷
杉	村	マ	サ	東	蓑	原	谷



末吉支所受付分

吉	川	裕	子	法	楽	寺
鮫	島	ス	ミ	簀	原	東
伊	集	正	美	五位	塚	崎
五位	塚	幸	一	中	崎	渡
外	山	久	美	菅	原	南
東	田	なる	子	中	川	下
迫	田	雪	春	深	六	町
山之	内	ツ	ユ	六	町	上
川	崎	順	弘	六	町	上
鶴	留	隆	一	鹿	児	島
富	田	一	隆	前	川	内
大	迫	恵	美	坂	元	
東	迫	一	廣			
匿名		1	件			

大隅支所受付分

桑	名	義	治	高	松
花	牟	貞	秋	東	鍋
安	田	淳	子	東	旭ヶ丘
神	宮		正		
水	口	百	合	あ	け
持	留	ユ	キ	上	長
福	満		誠	平	原
大	村	健	二	太	田
					尾

一般寄付金（敬称略）

（令和3年8月1日～令和3年10月31日）

本所（財部）受付分

匿名 1 件

物品寄付（敬称略）（令和3年8月1日～10月31日）

末吉牛乳販売より経口補水液（500 m l 入り 240 本）を寄贈していただきました。



職員より

私には今年、百歳になった祖母がおります。

まだまだ元気で朝夕の散歩は欠かしません。シルバーカーを押して歩くスピードは私もかなわないほどです。祖母が言うには「元気の源は毎日の散歩とお友達と話すことだ」と言い、散歩を兼ねて自治会内のお友達と井戸端会議をするのが日課になっています。

良き話し相手になってくださったり、また歩く姿をそっと見守ってくださったりと地域の方々が気にかけてくださっていることが、本当にありがたいことだと思っております。これから寒くなってまいりますので、お体には気をつけて健やかに過ごしてください。

N・Y

～手と手情報紙へのご意見を～

曾於市社会福祉協議会情報紙「手と手」へのご意見窓口を開設しています。



上記のQRコード
でご意見をお寄せ
ください。



<https://docs.google.com/forms/u/0/>